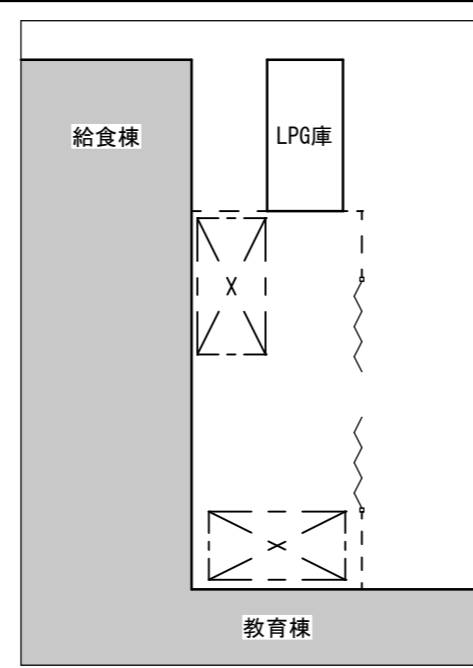
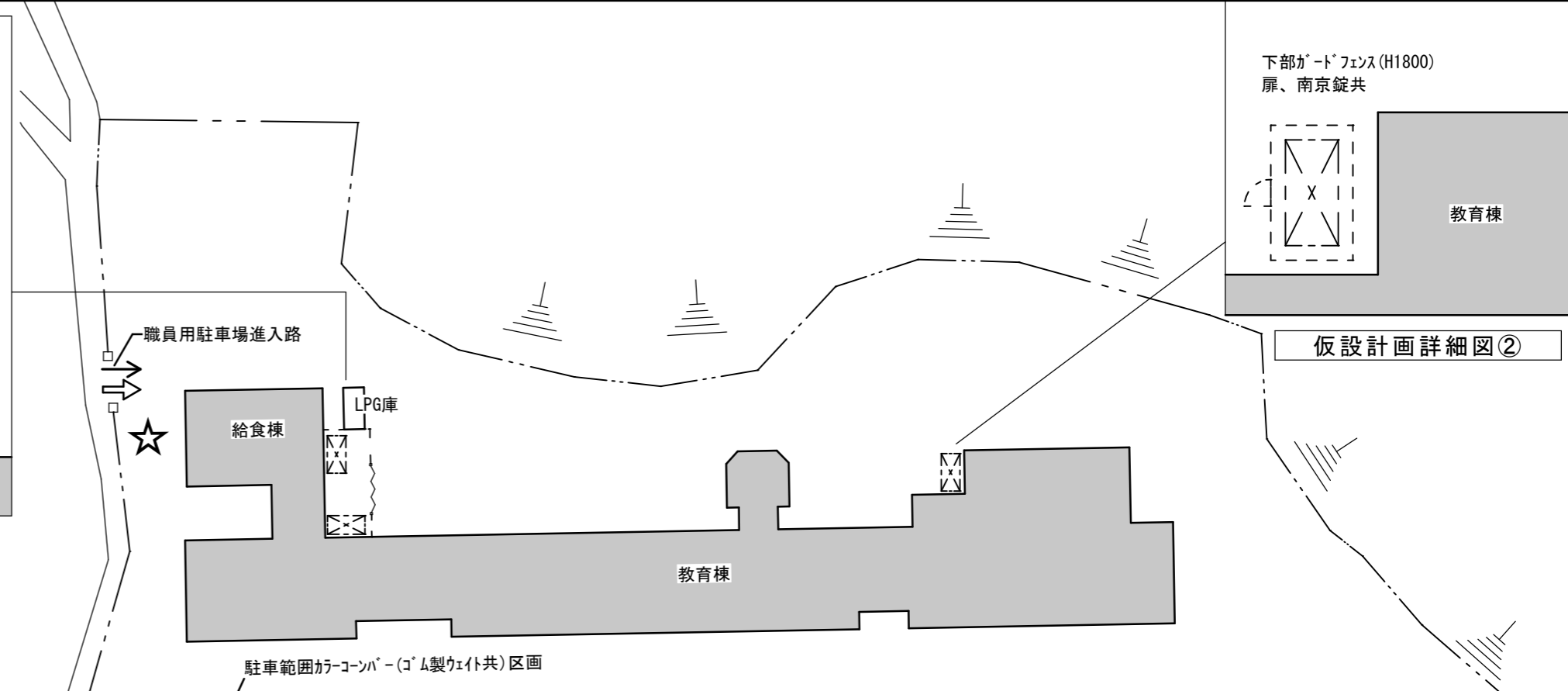


附近見取図



仮設計画詳細図①



配置図兼仮設計画図

凡例

	改修建物
	ガードフェンス (H1800)
	昇降用枠組本足場(手すり先行工法)メッシュ張り
	キャスターゲート(W6000)
	交通誘導員(大型車両進入時配置)
	工事車両進入路を示す
	工事車両置き場(3台程度)

＝ 特記事項 ＝

【工事概要】

工事場所：津市 芸濃町林 地内
 工事内容：施設名称 津市立明小学校
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 延面積 2274㎡
 工事項目 防水改修工事

【施工条件】

- ・作業着手前の調査については、事前に学校関係者及び、市監督員の承諾を得るものとし学校の授業終了後もしくは休日等に行う行事に影響を与えない範囲とする。
- ・工事中の安全計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ・工事着手前には、現況把握の為に破損箇所があれば市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に損害を与えた場合は、請負人の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ・工事期間中も学校運営を行う為、学校関係者に危害を与えないように注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ・大型車両の出入りの際は交通誘導員を配置すること。また、工事車両進入路は利用者も使用するもので、徐行するものとし、学校関係者の安全に注意を払うこと。
- ・工事車両及び工事関係車両は、周辺道路には駐車しないこと。
- ・工事車両の出入りについては、登下校の時間を避け、安全確保に十分配慮すること。
- ・揚重機での屋上への荷下ろし、荷上げは市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ・施工に先立ち、屋根への昇降用足場を設置し、作業者の安全に配慮した仮設計画とすること。また、昇降用足場へ学校関係者等が立入らないように進入防止の措置を講ずること。
- ・工事用水、電力、便所については校内既存の施設を無償で利用できる。
- ・設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは、本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・11月2日、11月17日は、学校行事が行われるため、休工とすること。

【適応基準】

- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編 最新版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編 最新版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編 最新版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(電気設備工事編 最新版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(機械設備工事編 最新版)
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(機械設備工事編 最新版)
- ・その他関係法令

【外部足場】

- ・枠組本足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(最新版)」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、改善措置機材による場合は手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。なお、同足場は、二段手すりと巾木の機能を有する部材をあらかじめ備えられた手すり先行足場型とするか、または、改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。

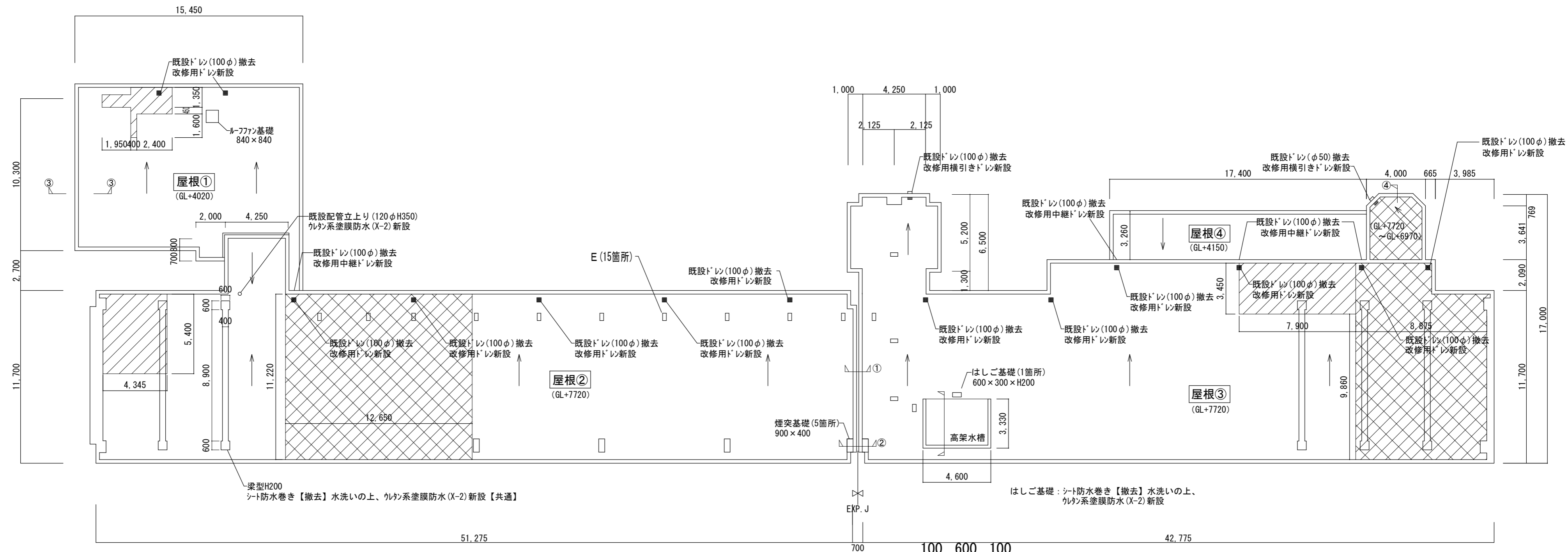
【解体撤去処分】

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェスト(A、B2、D票)を市監督員に提示すること。また、近隣に対し騒音・振動・粉塵等を配慮した施工を行うこと。

【防水保証】

- ・保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2部提出すること。
- ・屋上防水保証年数は10年とすること。

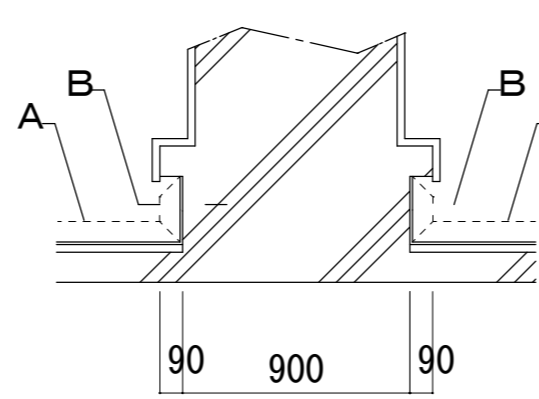
津市立明小学校防水改修工事		縮尺	NS
図面名称	附近見取図・配置図兼仮設計画図	原因	A2
津市建設部営繕課		No.	1/3



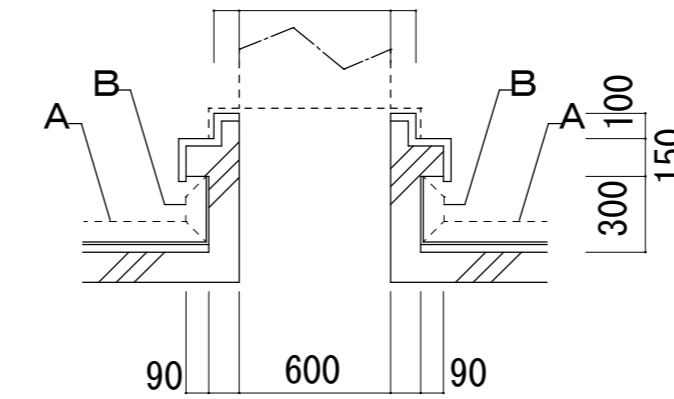
屋上平面図 1/200

記号	部位	改修前	改修後
A	屋根①~④ 平場	コンクリート金押しの上シート防水(断熱工法t=10)【撤去】	水洗い、下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水(X-1)
B	屋根①~④ 立上り	コンクリート下地のシート防水 (端部AL押え金物、天端シリング共) 【撤去】	水洗い、下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
C	斜め	コンクリート下地の塗膜防水(平場、立上り共) 【浮き、剥がれ部 剥離除去】	水洗い、除去部下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水 平場(X-1)立上り(X-2)
D	格子	コンクリート下地のセメント系防水(平場、立上り共) 【浮き、剥がれ部 剥離除去】	水洗い、除去部下地調整(樹脂モルタル)の上 ウレタン系塗膜防水 平場(X-1)立上り(X-2)
E	設備基礎	コンクリート基礎(W500×H250×D120)の上 シート防水【撤去】	水洗いの上 ウレタン系塗膜防水(X-2)

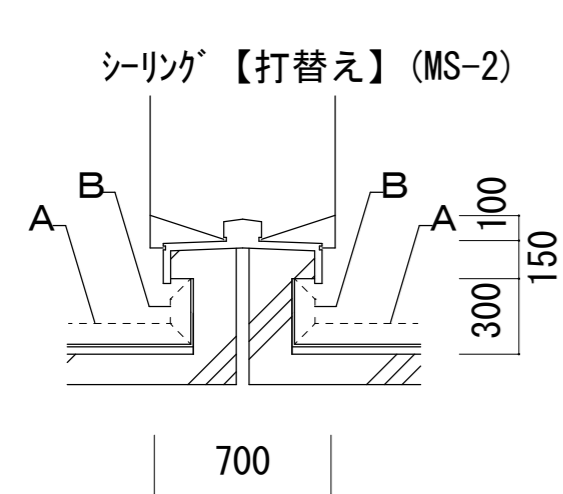
※ウレタン系塗膜防水(X-1)には脱気筒(スチール製)を設けること
シリング【打替え】(MS-2)



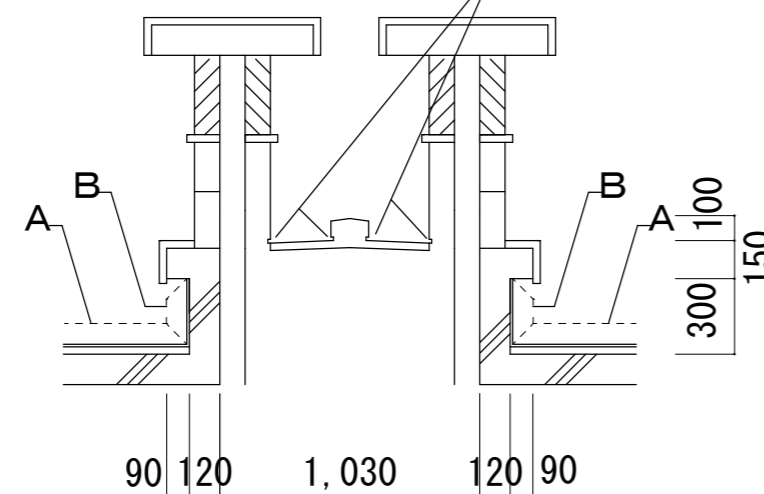
煙突基礎詳細図 1/30



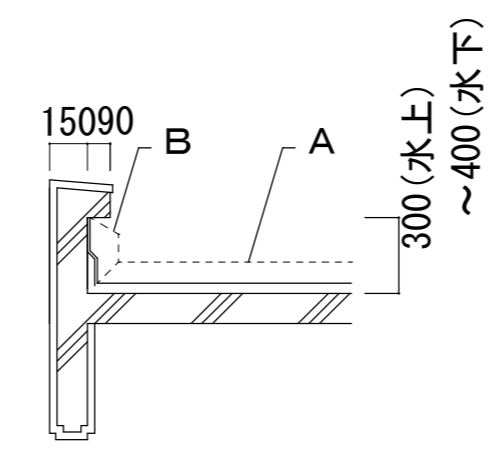
ルーフファン基礎詳細図 1/30



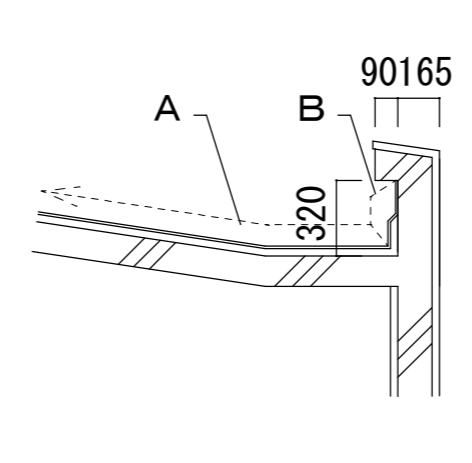
①EXP. J立上り詳細図 1/30



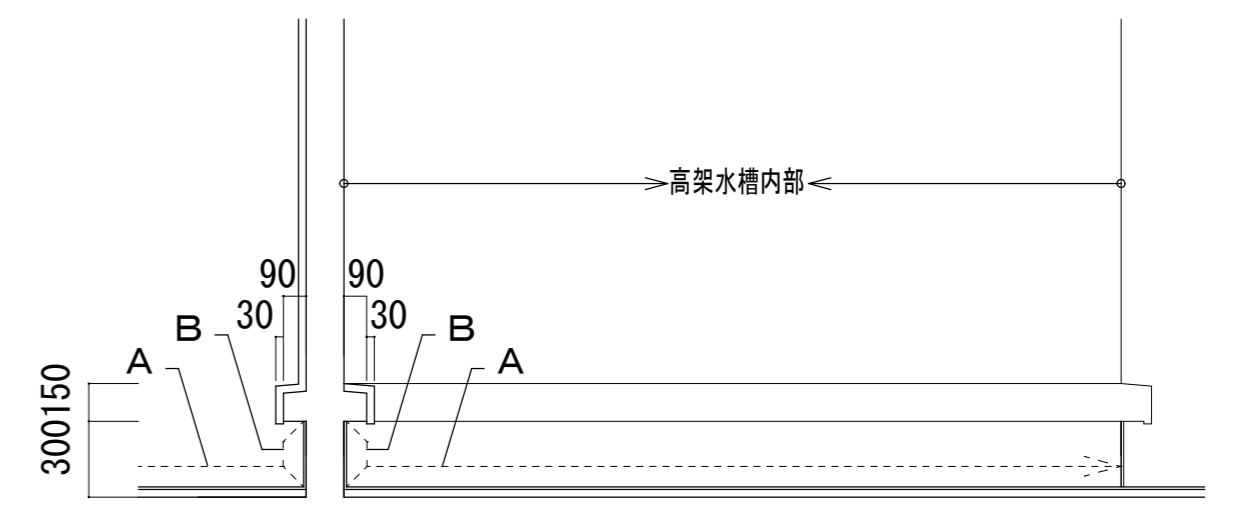
②EXP. J立上り詳細図 1/30



③断面詳細図 1/30



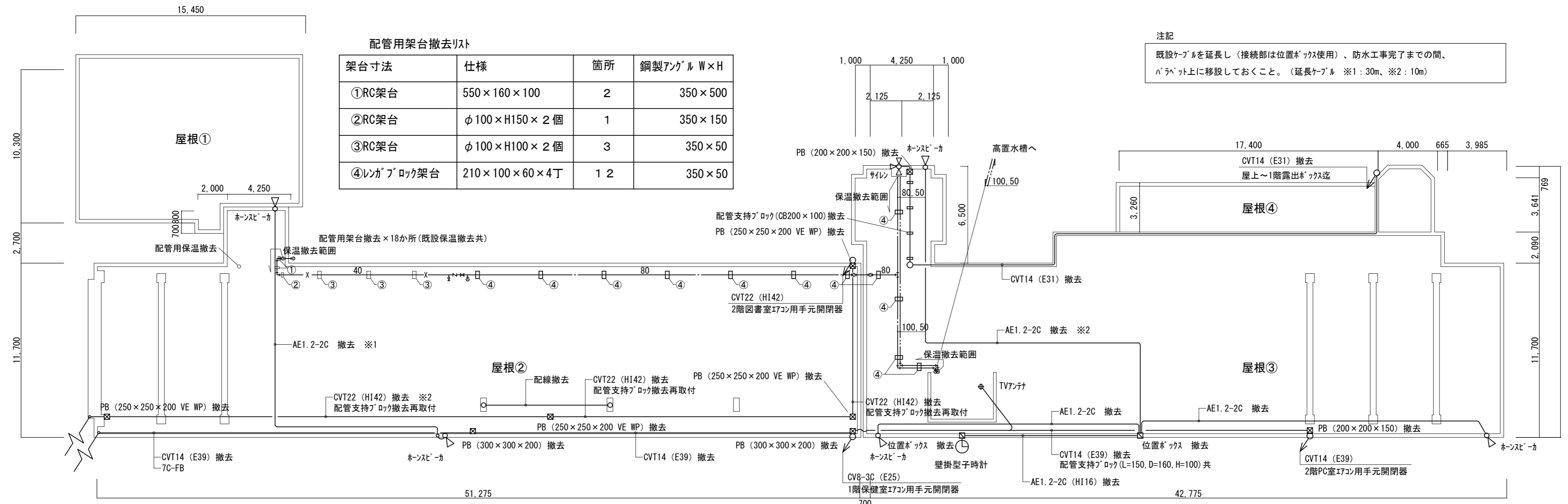
④断面詳細図 1/30



高架水槽立上り詳細図 1/30

※特記なき限り、EXP. Jのシリング 打替え (MS-2)

津市立明小学校防水改修工事		縮尺 1/200 1/30
図面名称	屋上平面図	原因: A 2
津市建設部営繕課		No. 2/3

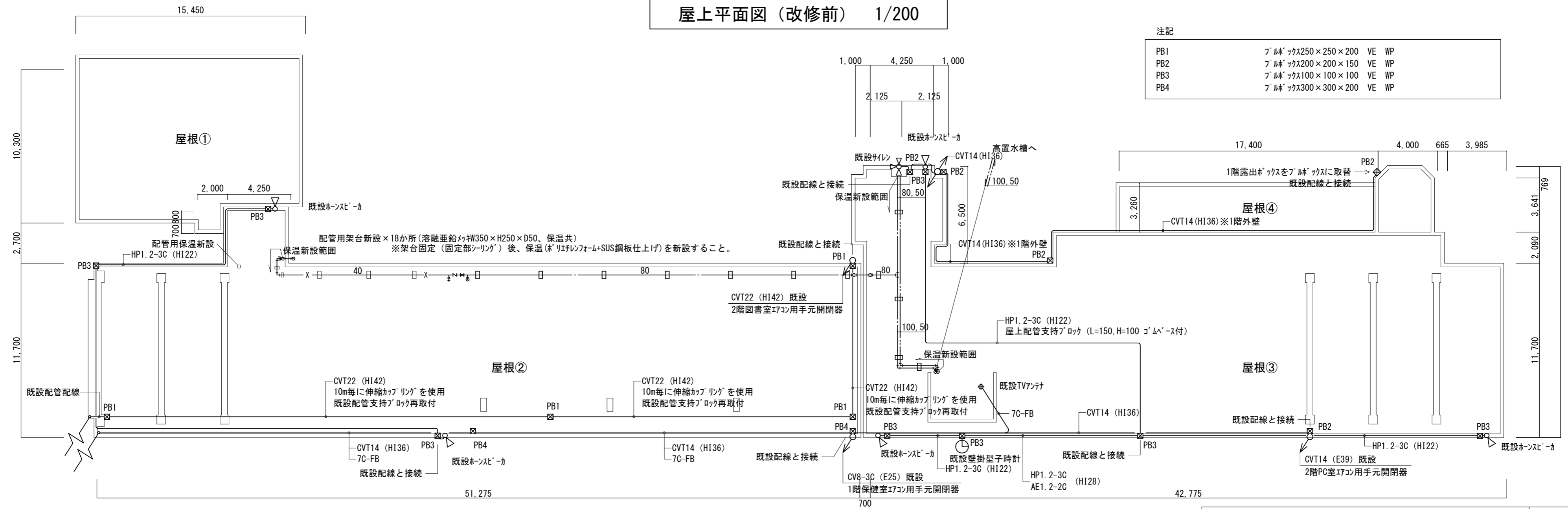


配管用架台撤去リスト

架台寸法	仕様	箇所	鋼製アングル W×H
①RC架台	550×160×100	2	350×500
②RC架台	φ100×H150×2個	1	350×150
③RC架台	φ100×H100×2個	3	350×50
④レコパブロック架台	210×100×60×4丁	12	350×50

注記
既設ケーブルを延長し（接続部は位置ボックス使用）、防水工完了までの間、バラベツト上に移動しておくこと。（延長ケーブル ※1：30m、※2：10m）

屋上平面図（改修前） 1/200



注記

PB1	ブレース250×250×200 VE WP
PB2	ブレース200×200×150 VE WP
PB3	ブレース100×100×100 VE WP
PB4	ブレース300×300×200 VE WP

屋上平面図（改修後） 1/200

津市立明小学校防水改修工事		縮尺 1/200
図面名称	電気・機械設備図	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 3/3